

Let's KYUTECH 留学



第6号

「明専寮」のグローバルリーダー教養教育プログラム



「いつか海外に行ってみたい」その気持ち、今こそ行動に移しませんか？
今回は明専寮の海外派遣プログラムと英語教育プログラムをご紹介します。
九工大の大学1・2年生向け海外プログラムと共通点が多く、初めての海外渡航や短期留学に挑戦したい方にぜひ読んでいただきたい内容です。

明専寮について詳しく見る ▶



明専寮とは

グローバルリーダーの育成を目的とした学生寮です。寮独自の教育プログラムがあり、志の高い仲間たちと積極果敢に切磋琢磨する環境が整っています。寮は戸畑キャンパス内にあり、毎年度およそ40名の男子学生が選考を経て入寮します。寮に入寮できる期間は原則1年間ですが、条件を満たせば最長2年まで延長可能です。

海外派遣プログラムについて



明専寮の海外派遣プログラムは、学生が海外の文化や考え方に触れ、国際的な視野を広げることを目的とした取り組みです。
また、寮で日頃取り組んでいる英語教育プログラムの成果を実際に試す場にもなっています。
昨年度は、マレーシアと台湾のプログラムに合計27人の学生が参加しました。

Q

プログラムではどんなことをするの？

マレーシアではバディ制度があり、現地の学生と一緒に文化体験をします。台湾では台湾人・日本人混合グループで協働学習をします。どちらのプログラムも大学の外に出て、地域の歴史や文化に触れる機会があります！

海外渡航のサポートはある？

大学職員が引率し、現地まで同行します。事前研修もあり、初めての海外でも安心です。渡航費の一部として約4万円の補助*があります。

*支援内容は変更される可能性があります。(2025年4月時点の情報です。)

Q

ABC

英語教育プログラムって？



グローバルに活躍する学生をサポートするプログラムです。スピーキングや工学系の英語について学び、最終日にはスピーチコンテストも開催されます。
授業は週1回(全15回)で、完全オンラインです。フィリピンの現地講師から学びます。
海外派遣プログラムに参加した学生からも、英語教育プログラムで英語を話すことに慣れていて良かったという声も！

台湾/国立台北科技大学

プログラム期間:2025年3月4日~3月7日

工学部 宇宙システム工学科
機械宇宙システム工学コース

マツウラ ヨウヤ
松浦 功弥さん



プログラム参加の理由は?

海外の学生と交流しながら興味のある風力発電を学べるということを知り、参加を決めました。初めての海外でしたが、大学のサポートが手厚く安心して参加できました。

プログラムの内容

台北科技大学で3泊4日実施される明専寮の海外派遣プログラムです。SDGsワークショップやフィールドワークが中心で、台湾の学生と都市モデルを作って発表を行いました。

プログラムの思い出は?

台湾の学生と雑談しながら発表準備した時間はいい思い出です。フィールドワークでは九份(千と千尋の神隠しのモデル)などの街歩きを楽しみ、自由時間には臭豆腐などの台湾名物にも挑戦しました!台湾の学生とは今も交流が続いています。

大変だったことは?

限られた時間でプログラムをこなしつつ、現地も堪能したかったので、朝から夜までスケジュールがぎっしりでした…。グループワークでは日本人同士で固まりがちだったけど、席替えなど工夫して台湾の学生と積極的に話すようにしました。

プログラムでの学び

完璧な英語じゃなくても気持ちがあれば伝わることを実感。文化の違いを肌で感じて視野が広がり、海外に飛び込む勇気もつきました。英語の勉強の成果も確認できました。この経験が自信になって次はベトナムでインターンに挑戦します!

メッセージ

大学のプログラムなら安全面も安心。怖がらずに飛び込んでみてほしいです!終わった後は『また行きたい』って思えるくらい充実した経験になります。



マレーシア/プトラ大学

プログラム期間:2025年3月19日~3月26日

工学部 機械知能工学科
機械工学コース

タナカ ヨウイチロウ
田中 陽一郎さん



現地での学びと大変だったこと

マレーシアはイスラム系・中国系をはじめとする多民族国家であり、日本では感じられない多様性を感じることができました。また、モスク見学ではガイドさんからイスラム教の教えについて学びました。モスクの建築様式にはイスラム圏以外の要素も含まれていることを知り、イスラムの寛容さを実感しました。

費用や食事、宿泊施設について

奨学金4万円支給で実質8万円ほどの自己負担でした。現地の物価は安く、経済的負担は少なかったです。食事はスパイシーな食べ物が多く、飲み物の種類も豊富でした。私はコーヒーが好きなのでマレーシアのコーヒーも頂きましたが、日本のものに比べてかなり甘く驚きました。留学中はUPMの寮(KPZ)に宿泊しましたが、エアコンなし、シャワー共同となかなかハードな環境でした(笑)。ですが住めば都の精神で乗り切ることができました!

メッセージ

UPMの学生はみんな明るくて元気で、交流していても楽しい人ばかりでした。このプログラムはUPMの学生と共同で、学生主体で運営し、教えないほどたくさんさんの思い出ができる研修となっています。新たな視点や刺激が得られる貴重な経験なのでぜひ挑戦してください!



プログラムの概要と参加の理由は?

明専寮生のみが参加できる、マレーシア・プトラ大学(UPM)との交流を通じてグローバルな視野の獲得と現地の文化の体感を目指すプログラムです。奨学金支給による手厚い金銭支援もあったことから参加を決めました。1年生の頃台湾派遣プログラムに参加し非常に有意義な経験をしたことから、マレーシアのプログラムも充実したものになると確信し参加しました。

プログラムの内容と楽しかったこと

国立博物館でマレーシアの歴史を学び、断食体験やモスク見学で現地文化に深く触れることができました。断食後の食事「イフタル」をモスクで体験できたことがとてもいい思い出です!また、UPM学生との交流もとても楽しく、今でもたびたびSNSでやりとりをしています。

マレーシアのプログラムの特徴は?

メインはマレーシアの文化体験です。滞在中はパディと一緒に行動します。マレーシアの伝統料理をつくったり、モスクや国立博物館を見学したりしました。

プログラムの思い出は?

ラマダン(断食)です!日中はおなかがかすいてかなり大変でしたが、日没後にモスクで皆と一緒に食事を囲んだときの一体感は、言葉では表せないほど特別で、この体験を通してイスラムの教えを実際に肌で感じる事ができました。

苦労したことは?

寮の生活環境が厳しく、30度を超える暑さの中でもエアコンがなく、夜も大変でした。また、シャワーは水しか出なかったことにも最初は戸惑いましたが、日が経つにつれて自然と慣れていきました。

今後の予定

今後も九工大の留学プログラムに参加していきたいです。現在は学生フォーミュラで車の製作を行っているので、ドイツへの留学に興味があります。

メッセージ

現地の文化を肌で体験することができるのは、留学ならではの貴重な経験です。私もラマダンを体験して、ラマダンやイスラム教への考え方が変わりました。ぜひ留学に一歩踏み出してみてください。



海外派遣プログラムに参加しました!!

プログラムに参加した理由

いろんな国を見てみたいという思いがあり、大学入学前から海外研修に関心を持っていました。明専寮にプログラムがあることを知り、参加を決めました。



マレーシア/プトラ大学

プログラム期間:2025年3月19日~3月26日

工学部 機械知能工学科
機械工学コース

オクタニ ヨウセイ
奥谷 康誠さん



台湾/国立台北科技大学

プログラム期間:2025年3月4日~3月7日

工学部 宇宙システム工学科
機械宇宙システム工学コース

ツツキ ヨシハル
都築 慶治さん

プログラムに参加するか迷った?

長いコロナ期間だったこともあって、海外渡航には少し抵抗感がありました。でも明専寮の先輩から情報を得て、行きたい!という気持ちになり、参加を決めました!

台湾のプログラムの特徴は?

日本人学生と台湾人学生が半々くらいのグループで活動しました。実際に現地の風力発電に関する講義を受け、大学の風力発電の機械を見学することもできました。最終日にはグループでのプレゼンテーション発表もあり、グループでの活動が多く現地の学生と沢山コミュニケーションをとることができました。



楽しかったことは?

フィールドトリップです!現地の学生に、おすすめを聞いて国立中正紀念堂に行きました。台湾のお寺も参拝して、異文化体験ができたことが印象に残っています。

苦労したことは?

現地学生とのコミュニケーションです。日常会話は問題なかったのですが、ディスカッションをすると、専門用語をうまく伝えられず、会話がまったく弾みませんでした…。もっと専門用語も勉強しておけばよかったと思いました。

台湾での異文化体験を教えてください

お寺の参拝方法が日本と違い、一つのお寺にいくつも参拝するところがありました。おみくじも引いた内容を解説してくれる窓口がありました。台湾のパディの学生が通訳してくれました!

メッセージ

行くか行かないか迷ったときに行ってみて楽しかったことの方が多い!迷っている学生は、参加した方がいいと思います。何かしら得られることがあるはず!



九工大は、留学にチャレンジする九工大生を 全力で応援します!

九州工業大学では、みなさんの「留学してみたい!」の
気持ちを様々な形でサポートしています。

危機管理サポート

1 危機管理安全講習

留学される方は、海外に行く前に、留学についての基礎知識や留学中のリスクやそのマネジメント等について学ぶ授業を必修で受けていただきます。これにより、自身の身の守り方、危機対応に関する意識と感受性を高めます。

2 学研災付帯海外留学保険

海外渡航は思わぬアクシデントがいっぱい、フライトが急に変更になったり、現地で病気になったり。そんな時に支えてくれるのが海外留学保険です。九工大では、リーズナブルでサポートの手厚い保険をご案内しています。

3 危機管理サービス(J-TAS)

急に熱が出たらどうしたらいい?パスポートがなくなった!そんな時に、24時間いつでも日本語でサポートしてくれるサービスに大学として加入しています。留学中、ご家族も含め、無料でいつでもご相談いただける心強いサービスです。

海外渡航費サポート

1 海外渡航奨学金 - JASSO 支援

九工大で企画するプログラム、あるいは海外協定校が主催するプログラムへ参加する学生への奨学金です。

2 DDP(ダブルディグリー)奨学金

ダブルディグリーとは、九工大の学位と海外の大学の学位、ダブルで取れる制度です。九工大では、大学院生向けに制度をご準備しています。時間もかかりますしハードですが、海外の学位を取りたい方はぜひチャレンジしてみてください。

3 後援会

大学のプログラムとは別に個人で留学にチャレンジする方への支援金です。



留学のことをもっと知りたい方はWEBをご覧ください!

新着情報は

X(旧Twitter)をCheck!

X(旧Twitter)には、海外渡航や留学にかかる奨学金情報、よくある質問Q&Aや渡航中の先輩の様子など、留学にまつわる様々な情報を発信中!ぜひフォローお願いします。



各渡航プログラムの詳細は

こちら!

一覧表の気になるプログラムをタップすると、さらに詳細が見られます!

海外留学プログラム
案内サイト



公式LINEアカウント始めました!

九工大の海外留学プログラムや学内の国際交流イベントの情報をいち早くお届け!友達追加お待ちしております!



編集後記

編集部ティータイム



学生たちの
一歩に拍手!

福島 私が話を聞いた学生さん、最初はちょっと緊張していたんですけど、海外での体験を語るうちに表情がどんどん明るくなっていった。台湾での経験が本当に充実していたんだなと感じました!

藤本 わかります。私がインタビューした学生さんも、すごくイキイキと話してくれて。仲良くなった台湾の学生と帰国後も連絡を取り合ってるそうで、交流が一度きりじゃないというのが印象的でした!国際交流って、こういう継続的なつながりが生まれるのがいいですね。

松崎 私が話を聞いたマレーシアに渡航した学生さんは、イスラム

文化に触れる中で「イフタル」を体験したそうです。宗教や習慣の違いに驚きながらも、現地の人たちの温かさに触れて、イスラムの寛容さを感じたという話が印象的でした。

福田 素敵ですね。私の学生さんも、マレーシアの学生との交流が深く、別れのときに涙が出た人もいたと話してくれました。短期間でも心が通じ合う関係が築けるんだなと、聞いていて胸が熱くなりました!

福島 どの学生さんも、それぞれに充実した体験ができたようによかったです!大学が主催するプログラムでしかできない経験もたくさんあったようですね。このリーフレットを読んだ学生にも、九工大の海外派遣プログラムにぜひ参加してみてください。